

令和6年度第1回 能力開発審議会

○報告・協議事項

- I 第11次兵庫県職業能力開発計画に基づく取組の推進
- II 第11次兵庫県職業能力開発計画の進捗状況
- III 県が取り組む職業能力開発の状況
- IV 職業訓練校の体制強化・機能充実

産業労働部能力開発課

I 第11次兵庫県職業能力開発計画に基づく施策の推進

職業能力開発促進法の規定により、国の職業能力開発基本計画に基づき策定した「第11次兵庫県職業能力開発計画」（令和3年度～7年度）に定めた基本方向に沿って施策を推進する。

〈第11次計画における職業能力開発施策の基本的方向〉

〈施策の基本方向〉

〈主な取組〉

01 ポストコロナ社会を支える 求人・求職者ニーズへの対応

- (1)高度ICT人材の育成、5G時代に対応した訓練の充実
- (2)次世代産業分野の基盤技術を有する人材の育成
- (3)介護・福祉、建設等人手不足分野における訓練の充実

02 長期化する職業人生における キャリア形成の支援

- (1)人生100年時代を見据えたキャリア形成の支援
- (2)企業在職者向けの訓練（学び直し）の実施
- (3)大学や専門学校等と連携したリカレント教育の充実

03 全員活躍社会の実現に 向けた多様な働き方の推進

- (1)一人ひとりに応じた能力開発の支援(非正規雇用、女性、若者、中高年齢者、障害者、外国人)
- (2)起業人材育成プログラムの実施、スタートアップの集積・育成
- (3)兼業・副業に繋がる技能の習得支援、多様な働き方支援

04 技能者の社会的地位の向上や 技能継承への支援など 技能振興の推進

- (1)技能者の技能水準の向上、技能競技大会の参加促進
- (2)技能尊重気運の醸成、優れた技能者の顕彰
- (3)小学生から高校生まで発達段階に応じたものづくり体験学習の機会提供、職業意識の醸成

05 公共職業能力開発施設に おける取組の充実

- (1)ICT(オンライン、AR)や先端機器を活用した訓練の充実
- (2)子育て世代に配慮した短時間訓練の実施
- (3)発達障害者を対象とした実務訓練の本格実施
- (4)時代のニーズに即した委託訓練、在職者訓練の充実

Ⅱ 第11次兵庫県職業能力開発計画の進捗状況（1）

評価の基準 ◎100%以上(達成) ○90~100%(概ね達成) △70~90%(下回る) ×70%未満(大きく下回る)
令和5年度の数値は確定していないため、全ての数値が確定次第、評価を行う。

1 ポストコロナ社会の産業構造の変化に伴う求人・求職ニーズへの対応

【総評】 4項目中3項目が概ね目標どおり取り組んでいる。検査員の養成は、R5以降目標値を修正し継続実施

指標名	単位	R4				R5 (R6.3月末現在)		
		目標	実績	達成率	評価	目標	実績	達成率
IT分野委託訓練による就職率	%	66.0	85.1	128.9	◎	66.0	53.2	80.6
産業の高度化に対応した職業訓練における就職率	%	81.0	82.5	101.9	◎	81.0	57.4	70.9
航空産業非破壊検査トレーニングセンターにおける検査員の養成	人	83	56	67.5	×	7	4	57.1
介護・福祉、建設分野の委託訓練による就職率	%	90.0	89.8	99.8	○	90.0	68.3	75.9

2 職業人生の長期化に伴う労働者のキャリア形成の支援

【総評】 6項目中4項目が概ね目標どおり取り組んでいる。大学生インターンシップ^oは企業の受皿が整わず未達成

指標名	単位	R4				R5 (R6.3月末現在)		
		目標	実績	達成率	評価	目標	実績	達成率
自発的に職業訓練・自己啓発を行った者の割合	%	17.0	17.3	101.8	◎	統計調査に基づく指標のためデータなし		
ものづくり大学等における在職者訓練実施人数	人	1,000	1,159	115.9	◎	1,050	1,183	112.7
事業内職業訓練補助による訓練人数	人	1,300	1,422	109.4	◎	1,300	1,377	105.9
ものづくり大学等における中学生の体験者数	人	10,000	9,164	91.6	○	10,500	7,930	75.5
大学生のインターンシップ参加者数	人	650	342	52.6	×	650	381	58.6
大学が実施するリカレント教育の講座数	講座	100	89	89.0	△	100	104	104.0

Ⅱ 第11次兵庫県職業能力開発計画の進捗状況（2）

評価の基準 ◎100%以上(達成) ○90~100%(概ね達成) △70~90%(下回る) ×70%未満(大きく下回る)
令和5年度の数値は確定していないため、全ての数値が確定次第、評価を行う。

3 全員活躍社会の実現に向けた多様な働き方の推進

【総評】全ての項目（8項目）で概ね目標どおり取り組んでいる。

指標名	単位	R 4				R 5（R6.3月末現在）		
		目標	実績	達成率	評価	目標	実績	達成率
20代・30代の非正規雇用比率	%	27.0以下	28.6	94.4%	○	—	—	—
女性（25～44歳）の有業率	%	76.0	77.1	101.4	◎	統計調査に基づく指標のため データなし		
若者（25～39歳）の有業率	%	84.2	84.7	100.6	◎			
高齢者（65～74歳）の有業率	%	38.3	37.3	97.4	○	—	—	—
障害者雇用率（法定雇用率）	%	2.3	2.28	99.1	○	2.3	2.36	102.6
県内中小企業等へ就職した外国人留学生数	人	600	1,089	181.5	◎	600	未	
企業・創業の拡大によるしごと創出数(累計)	人	1,430	1,863	130.3	◎	1,645	未	
仕事と生活の調和推進企業認定数(累計)	社	420	437	104.0	◎	480	510	106.3

Ⅱ 第11次兵庫県職業能力開発計画の進捗状況（3）

評価の基準 ◎100%以上(達成) ○90~100%(概ね達成) △70~90%(下回る) ×70%未満(大きく下回る)
令和5年度の数値は確定していないため、全ての数値が確定次第、評価を行う。

4 技能者社会的地位の向上や技能継承への支援など技能振興の推進

【総評】3項目中2項目が概ね目標どおり取り組んでいる。1項目は未実施のため評価対象外。

指標名	単位	R 4				R 5 (R6.3月末現在)		
		目標	実績	達成率	評価	目標	実績	達成率
ものづくり大学校における中学生の体験者数	人	10,000	9,164	91.6	○	10,500	7,930	75.5
技能検定受検申請者数（技能実習生を除く）	人	6,600	5,249	79.5	△	6,600	5,285	80.1
全国技能グランプリ入賞者数	人	17	延期	—	—	17	10	58.8
技能顕功賞受賞者数	人	130	134	103.1	◎	130	160	123.1

5 公共職業能力開発施設における取組の充実

【総評】全ての項目（5項目）で概ね目標どおり取り組んでいる。

指標名	単位	R 4				R 5 (R6.3月末現在)		
		目標	実績	達成率	評価	目標	実績	達成率
職業能力開発校における就職率	%	90.0	89.4	99.3	○	90.0	77.5	86.1
委託訓練による就職率	%	75.0	81.2	108.3	◎	75.0	62.4	83.2
障害者職業能力開発校における就職率	%	85.0	90.5	106.5	◎	85.0	81.3	95.6
ものづくり大学等における在職者訓練実施人数	人	1,000	1,159	115.9	◎	1,050	1,183	112.7
中核的技術者の育成数（累計）	人	70	71	101.4	○	90	99	110.0

Ⅲ 県が取り組む職業能力開発の状況

1 県が運営する公共職業訓練施設

区分	校名	訓練期間	コース数	定員
一般校	ものづくり大学校（姫路市）	1年／6月	7	145人
	但馬技術大学校（豊岡市）	2年／1年	4	120人
	神戸高等技術専門学院（神戸市西区）	1年／6月	6	120人
障害者校	障害者高等技術専門学院（神戸市西区）	1年	4	37人
	兵庫障害者職業能力開発校（伊丹市）※国立県営	1年／6月	5	75人

2 令和6年4月に行ったコース再編の内容

産業構造等の変化及び地域・企業ニーズに応じた訓練内容の充実を図るため、コース再編を実施。

〈主なコース再編の内容〉

◇産業技術資格科の新設（ものづくり大学校）

資格取得や金属加工を主とするものづくり実習等を行い、製造等の現場で即戦力として活躍することのできる技術の修得を目指す

◇ものづくりオフィスワーク科の新設（神戸高等技術専門学院）

事務職に必要な技術等に加え、CAD技術やものづくりに関する知識の修得を目指す

◇機械製造科の新設（但馬技術大学校）

機械加工等の知識・技能を習得し、NC工作機等を活用したものづくりに対応できる技術者の育成を目指す。

◇障害の特性に応じた訓練コースの再編・新設等を実施（各障害者校）

Ⅲ 県が取り組む職業能力開発の状況

【参考】令和6年4月からのコース再編（1）

【ものづくり大学校】

溶接系2コース、機械系2コースをそれぞれ統合し、就職に有利な資格取得を目指す産業技術資格コースを新設

年度	科・コース名	訓練期間		定員
R5	溶接	1年		15
	ものづくり複合	1年		10
	金属塗装	1年		15
	住宅設備	1年		15
	木造建築	1年		15
	機械加工	1年		15
	機械製図・工作(デジタル)	1年		10
	CAD	6ヶ月	前・後	20・20
	計			135

年度	科・コース名	訓練期間		定員
R6	溶接	1年		15
	塗装	1年		15
	住宅設備	1年		15
	建築	1年		15
	機械製図・工作(デジタル)	1年		15
	CAD	6ヶ月	前・後	20・20
	【新】産業技術資格	6ヶ月	前・後	15・15
	計			145

【但馬技術大学校】

機械工学科を1年制に見直し、ものづくり産業へ早期人材供給できるコースへ見直し。総合ビジネス学科は委託化により廃止

年度	科・コース名	訓練期間	定員
R5	建築工学	2年	①20、②20
	機械工学	2年	①20、②20
	自動車工学	2年	①20、②20
	【廃】総合ビジネス	1年	①20
	計		

年度	科・コース名	訓練期間	定員
R6	建築工学	2年	①20、②20
	機械工学（R6限り）	2年	②20
	機械製造学	1年	①20
	自動車工学	2年	①20、②20
	計		

※定員欄の○数字は、学年別の定数

Ⅲ 県が取り組む職業能力開発の状況

【参考】令和6年4月からのコース再編（2）

【神戸高等技術専門学院】

一般事務から製造事務まで対応可能な人材を養成するものづくりオフィスワークコースを新設。総合ビジネス学科は委託化により廃止

年度	科・コース名	訓練期間	定員
R5	インテリアリフォーム	1年	15
	CAD/CAM加工	1年	15
	【廃】総合ビジネス	1年	20
	電気制御	1年	15
	印刷総合技術	1年	15
	給食調理	6ヶ月 前・後	20・20
	計		120

年度	科・コース名	訓練期間	定員
R6	インテリアリフォーム	1年	15
	CAD/CAM加工	1年	15
	電気制御	1年	15
	印刷総合技術	1年	15
	給食調理	6ヶ月 前・後	20・20
	【新】ものづくりオフィスワーク	1年	20
	計		120

【障害者高等技術専門学院】

訓練コースを見直し、新たに発達障害、精神障害者を対象としたコースを新設

年度	科・コース名	訓練期間	定員
R5	【廃】ものづくり（身）	1年	10
	ビジネス事務（身）	1年	10
	【廃】情報サービス（身）	1年	10
	総合実務（知）	1年	15
	計		45

年度	科・コース名	訓練期間	定員
R6	【新】キャリアチャレンジ（発）	6ヶ月 前・後	－・7
	ビジネス事務（身）	1年	10
	【新】Jobサポート（精）	6ヶ月 前・後	－・5
	総合実務（知）	1年	15
	計		37

Ⅲ 県が取り組む職業能力開発の状況

【参考】令和6年4月からのコース再編（3）

【兵庫障害者職業能力開発校】

企業ニーズに合わせた訓練内容に見直しデジタル関係の訓練を充実

年度	科・コース名	訓練期間	定員
R6	OA事務（身）	1年	20
	インテリアCAD（身）	1年	15
	ビジネス実務（精）	6ヶ月 前・後	5・5
	キャリア実務（発）	1年	15
	総合実務（知）	1年	15
	計		75

年度	科・コース名	訓練期間	定員
R6	OA事務（身）	1年	20
	オフィスワークCAD（身）	1年	15
	ビジネス実務（精）	6ヶ月 前・後	5・5
	キャリア実務（発）	1年	15
	総合実務（知）	1年	15
	計		75

Ⅲ 県が取り組む職業能力開発の状況

3 施設内訓練 入校・就職状況

企業の採用者数増加に伴い、ここ数年の入校率は減少傾向。改善に向け施設見学会の開催やSNS広報等に取り組んだ。一方、雇用状況の改善や障害者の法定雇用率上昇等により、就職率は上昇傾向にある。

施設名	入校者(入校率)				就職率		
	R3	R4	R5	R6 (10月入校除く)	R2	R3	R4
もの大	102(75.6%)	94(69.6%)	83(61.5%)	79(71.8%)	85.3%	84.6%	80.5%
但馬技大	60(75.0%)	46(57.5%)	51(63.8%)	27(45.0%)	100.0%	98.1%	100.0%
神戸技専	106(88.3%)	98(81.7%)	86(71.7%)	72(72.0%)	89.2%	90.5%	91.6%
障害者技専	37(82.2%)	31(68.9%)	30(66.7%)	15(60.0%)	70.0%	80.0%	92.3%
兵庫障害者校	64(85.3%)	56(74.7%)	56(74.7%)	56(80.0%)	81.8%	78.6%	89.6%
合計	369(81.1%)	325(71.4%)	306(67.3%)	249(68.2%)	86.3%	87.1%	89.4%

4 民間機関を活用した職業能力開発（委託訓練）

情報処理、WEBプログラミングなどデジタル系訓練への応募が多く、定員数は毎年増枠。施設内訓練と比較し短期間での訓練実施となるため、就職率は低い傾向にある。

施設名	入校者(入校率)			就職率		
	R3	R4	R5	R3	R4	R5
もの大	686(80.4%)	659(73.4%)	633(70.6%)	82.2%	84.7%	62.6%
但馬技大	143(56.1%)	136(67.3%)	129(70.1%)	67.2%	60.3%	57.5%
神戸技専	1,518(78.2%)	1,668(79.1%)	1,500(73.0%)	77.8%	81.6%	61.6%
障害者技専	41(75.9%)	38(66.7%)	49(81.7%)	75.0%	54.8%	59.1%
兵庫障害者校	42(84.0%)	39(67.2%)	35(79.5%)	23.1%	23.6%	16.1%
合計	2,430(77.1%)	2,540(76.4%)	2,346(72.4%)	78.5%	80.3%	61.0%

Ⅲ 県が取り組む職業能力開発の状況

5 在職者に対する能力開発

企業在職者を対象に、ものづくり技能の習得や各種資格取得のための職業訓練を実施
 コロナ禍で令和2年度の修了者は例年の8割弱まで落ち込んだが、令和3年度以降持ち直し、
 現在はコロナ以前の水準に戻っている。企業ニーズも踏まえながら、現場で活かせるコース設定に努めている。

施設名	修了者数					
	R3		R4		R5	
	コース	修了者	コース	修了者	コース	修了者
もの大	43	667	53	793	53	815
但馬技大	16	319	15	302	13	303
神戸技専	8	45	10	64	12	65
合計	67	1,031	78	1,159	78	1,183

6 技能の向上

技能者の顕彰

労働者の地位及び技能水準の向上を図るため、優れた技能者を表彰
 例年、技能顕功賞（約160人）、青年優秀技能者表彰（約30人）を、技能者表彰選考委員会により選考

区分	R3	R4	R5
技能顕功賞	125	134	160
青年優秀技能者表彰	39	42	34

Ⅲ 県が取り組む職業能力開発の状況

7 ものづくり体験など機運の醸成

ものづくり体験学習等の状況

- 体験学習：中学生・高校生を対象に、ものづくりのプロの技能を体験する学習の機会を提供
 ※コロナ禍である令和2,3年度はキャンセル等により実施数に落ち込みも見られたが、学校行事として親しまれている事業である。
 ※令和5年度から高校生にも拡充して実施
- 体験講座：小学生を対象に、夏休み・冬休み等を活用した木工・金工・工芸等の工作教室を実施
 ※令和4年度まで姫路の「ものづくり体験館」でのみ実施していたが、全県的に将来のものづくり人材を育成するため、令和5年度から神戸地域、但馬地域にも拡充して実施

区分		R3	R4	R5
体験学習	参加校数	68	85	82
	参加者数(人)	7,275	9,164	7,985
	プログラム数	485	613	552

区分		R3	R4	R5
体験講座	回数	52	62	80
	参加者数(人)	395	314	843

技能グランプリ&フェスタ

ものづくり体験を通じて職業観の醸成を図るため、親子を対象に実施
 コロナ禍により、入場者数は減少していたが、R5年度より回復傾向
 R5は10/28(土)・29(日)に神戸国際展示場で実施（R6も10月実施予定）

区分	R3	R4	R5
参加団体数	33	37	39
参加者数	2,286	3,277	約5,000人

※参加者数は、R3,4はコロナ禍のため実数計測。R5からは定時観測により計測。

IV 職業訓練校の体制強化・機能充実

・目的

- ・ **ものづくり人材の育成強化とものづくり産業の一層の振興を図るため、職業訓練校のうち一般校3校の運営を一体化し、人材育成機能強化に向けた体制を構築**

・見直しの方向性

- ・ 入校率・就職率の向上
- ・ 訓練内容の充実・オンライン活用など訓練手法の多様化
- ・ 訓練生に加え、児童・生徒など未来のものづくり人材の養成
- ・ 企業在職者のさらなる技能習得等への機会拡充

・見直し時期

令和7年4月（予定）



兵庫県